

カジノ・夢洲・大型開発

# 「府市一体化条例」の 先には破たんが！

大阪市の権限・財源を府に差し出し、「成長戦略」と大型開発を知事の指揮の下ですすめる「条例」が3月26日の大阪市会で強行されようとしています。しかし、維新が「成長戦略」の要とするカジノ誘致は破たんの危機に。高速道路など大型開発費用も大きく膨れ上がっています。



## 行き詰まる「成長のエンジン」＝カジノ誘致

維新や府・市はカジノを「大阪の持続的な経済成長のエンジン」だと言います。しかし、2月に公表した「新たな方針案」で「全面開業時期を未定に。規模も縮小の可能性」「コロナ禍で経営が悪化したIR事業者の撤退懸念が背景か」「米MGMIはオンラインカジノにシフトも。大阪IRにさらなる懸念」（産経新聞・3月5日付）など、カジノ誘致は行き詰っています。

## 膨らむ大型開発予算 → 大阪市のフトコロねらう！

淀川左岸線2期工事（高速道路）の費用が700億円も増加し、万博会場建設費は600億円の増加に対して財界関係者からも疑問の声があがっています。さらに、夢洲のメトロ駅の建設場所に土壌汚染が発覚し、今後の工事費用がますます膨らむことは明らかです。

「条例」のねらいは、コロナ禍ですすむ大阪府の財政難のもとでも、大型開発を推進するために大阪市の費用を肩代わりさせるためなのです。大阪市のフトコロがねらわれています。

### 「府市一体化条例案」とは？

「条例案」は、「本部長が知事、副本部長が市長」（5条）という上下の関係のもと、「議論を尽くして合意に努める」（6条4項）、市と府の「役割分担又は費用の負担等」を協議する（8条3項）、大阪市は「この条例に定める事項を誠実に履行する責務を有する」（3条）と書かれ、府に大型開発の事務を「委託」します。「一部修正」で府と市が「対等」になるなどあり得ません。

### 「8区総合区」は今回見送りに

松井市長が提出を公言していた「8区総合区」の条例案は今回提出されていません。